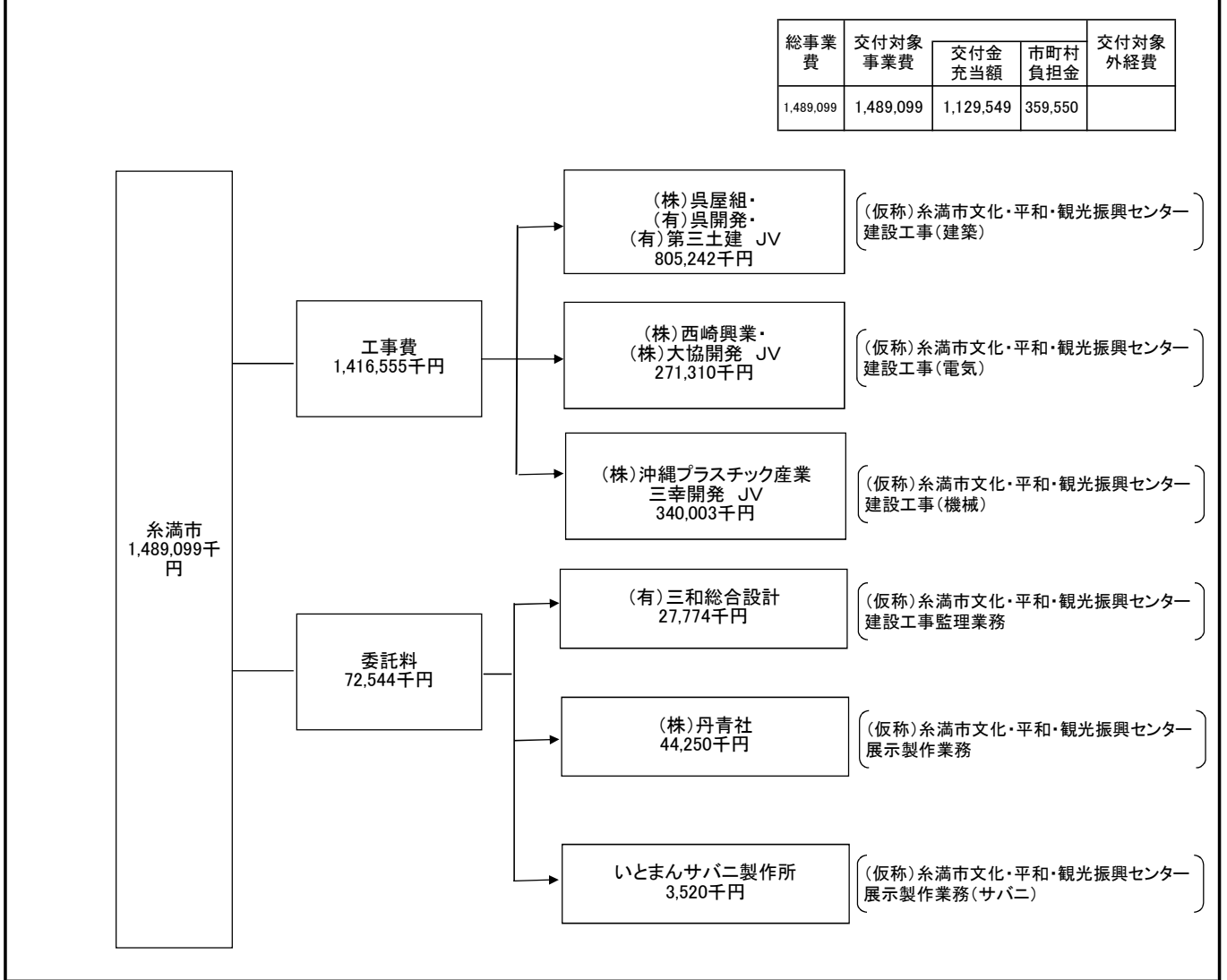


市町村名		糸満市									
令和2年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】											
事業番号・事業名	3-② 文化交流・情報発信拠点施設整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-1-(4)-エ						
	企画開発部 政策推進課		事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	文化の発信・交流					
担当部署名					Ⅲ-1-(1)						
事業内容	糸満市の歴史的魅力や観光情報の発信と文化芸術の保全・継承の場及び観光客と市民の体験・交流活動が可能な拠点の確保を図るため、文化交流・情報発信拠点施設の整備を行う。										
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)										
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )										
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度		R1年度		R1年度(繰越)		R2年度		R2年度(繰越)	
		(a)当初予算額	175,000	1,508,830				704,275			
		(b)予算現額	133,803	1,437,665				1,492,000			
		(c)増減額(b-a)	▲41,197	▲71,165		0		787,725			
		(d)繰越額	0	0	885,771		0		951,319		
		A.計(b+d)	133,803	1,437,665	885,771		1,492,000		951,319		
		B.執行済額	122,261	551,894	885,771		537,780		951,319		
		うち交付金充当額	97,808	441,515	708,321		430,224		699,325		
		次年度繰越額		885,771	0		951,319		0		
		執行率(%) (B/A)	91.4%	38.4%	100.0%		36.0%		100.0%		
予算の状況の説明		平成30年度は建築・展示実施設計の完了、管理運営実施計画を策定した。令和元年度は、磁気探査の異常点確認のため不測の日数を要し、885,771千円を令和2年度に繰越した。令和2年度は、令和元年度繰越分を執行したものの、電力会社との調整に不測の日数を要し、951,319千円を令和3年度に繰り越した。									
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況								
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度					
	(仮称)糸満市文化・平和・観光振興センター工事2年目の完了	目標	(建築・展示・管理運営実施計画の策定)	(建築・電気・機械・工事監理・磁気探査業務)	(建築・電気・機械・工事監理・展示製作)	( )					
		実績	完了	磁気探査業務完了	工事等繰越・サブ二出来高達成						
目標	( )	( )	( )	( )							
実績											
達成状況説明	令和元年度は当該工事に係る磁気探査業務(鉛直探査)について、2.5～3.5mの深度で多数の異常点が確認された。確認探査を行うため不測の日数を要し、建築・電気・機械工事及び工事監理業務等の令和元年度完了が困難となったため、令和2年度に繰り越した。令和2年度は、令和元年度繰越分を執行したものの、建設予定施設の電気の受電箇所及び受電経路について、電気事業者との調整に不測の日数を要し、令和3年度に繰り越した。										
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R4年度)				
	(仮称)糸満市文化・平和・観光振興センター工事2年目の完了	目標	( )	(建築・展示・管理運営実施計画の策定)	(建築・電気・機械・工事監理・磁気探査業務)	(建築・電気・機械・工事監理・展示製作)	( )				
		実績		完了	磁気探査業務完了	工事等繰越・サブ二出来高達成					
	【参考指標】 ①地域発信エリア(常設展示室、企画展示室)年間利用者約25,000人②創造発信エリア(大ホール、多目的室)年間利用者約40,000人③継承体験エリア(活動室、会議室)年間利用者約22,000人	目標	( )	( )	( )	( )	( )	(87,000人/年)			
実績											
進捗状況説明	令和元年度は当該工事に係る磁気探査業務(鉛直探査)について、2.5～3.5mの深度で多数の異常点が確認された。確認探査を行うため不測の日数を要し、建築・電気・機械工事及び工事監理業務等の令和元年度完了が困難となったため、令和2年度に繰り越した。令和2年度は、令和元年度繰越分を執行したものの、建設予定施設の電気の受電箇所及び受電経路について、電気事業者との調整に不測の日数を要し、令和3年度に繰り越した。										

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(本体工事) ・令和3年8月末の完成に向けて、工程管理を行う。 (運営体制) ・グランドオープンに向けて、運営体制を決定し開館にむけて準備する必要がある。	(本体工事) ・情報共有のための定例会議の開催を継続し、工程を把握する。 (運営体制) ・運営体制の検証や事業を実施するため関連部署等との調整等、計画を効率的に実施できるよう詳細を検証する。
	<b>今後の取り組み方針</b>	
(本体工事) ・令和3年8月の完成に向けて、適切な工程管理を行い完成に向けて取り組む。 (運営体制) ・本市の機構改革を行い、運営組織を決定する。グランドオープンに向けて、実際に運営組織が行う業務が増えるため、早期に運営体制を決定し、開館に向けた準備に取り組む。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流し、点検項目・費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事及び委託の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については不用額は入札残額であり、適正な規模であったと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	